

2学期始業式

いよいよ2学期が始まります。2学期は、邑輝祭や3年の修学旅行、2年の職場体験や1年の地域学習などの大きな行事が続きます。

今日は、2学期のスタートに向けて、パナソニックという電器会社を作った「松下幸之助」さんの話をします。

松下さんは、元々裕福な家庭でしたが、お父さんが事業に失敗し、どん底の生活になります。松下さんは、9歳の時にでっち奉公に出され、自転車店の見習いとして仕事に就いています。30歳の時、二股ソケットの開発で、いちやく有名になり、小さな工場から今のパナソニックという会社を作り上げました。

松下幸之助さんの考え方には、

「道は自分で作るもの」「失敗を恐れず挑戦する」というものがあります。

「誰かがなんとかしてくれる」ではなく、「自分のこととして、工夫してなんとかする」そして、失敗は、恥ではなく、成功へのヒントだと考え前に進んでいます。

そしてこんな言葉を残しています。

「道は自分で作るもの。人任せでは開けない。」

「失敗したところでやめるから失敗になる。成功するまで続ければ、それは成功だ。」

どん底から自分の力ではい上がり、大きな会社を作った人だからこそ、重みのある、現実味のある言葉だと思います。

これからの未来を切り開くみなさんには、松下幸之助さんのように、「何事も自分事として取り組む姿勢」と「失敗をチャンスに変える行動力」をもって2学期を乗り切ってほしいと思います。

2学期の大きな行事に大切なことは、「人任せにせず、自分のこととしてみんなが行動する姿勢」と「最後までやり抜く気持ち」をもって取り組んでいくことです。

2学期でのみなさんの活躍に期待しています。